



[本日の例会] 会長の日 雑誌の日

[次回予定] 10/11(火)ガバナー公式訪問

・・・例会報告 / 9月27日(火)・・・

■ 10分間卓話(竹内僭高会員・多胡友弘会員)



高崎の観音山丘陵(標高300mに満たない)・・・これだけの人口のある市街地近くに自然の多く残った場所は全国的に見ても数少なく大変貴重な丘陵地帯で、これからも大切に保護していきたい地域です。

10分卓話 竹内君

現在世界中で記録されている鳥は約8600種と言われている。

そして、わが日本国内では525種、そしてこの群馬県内ではその約半数の260種が生息していると言われています。(国の鳥…キジ、県の鳥…ヤマドリ、高崎市の鳥…ウグイス) 観音山周辺でみられる鳥も、春夏秋冬と一年を通してそれぞれの季節によって変わってきます。一年を通して観音山丘陵地帯で見られる鳥は90~100種位見られます。その中で一年中日本又はその地域に暮らす鳥を留鳥(りゅうちょう)と言います。スズメ、カラス、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、ムクドリなどです。このムクドリはこれからの季節は大きな群れを作って暮らします。(春には2羽ずつ暮らしています。町の中で群れを作っているのが糞の害があります。)それから皆さんご存知のウグイスもこの留鳥の仲間です。ウグイスは春になると大変きれいな囀りが聞こえてきてその声がよく耳に入ってくる、そうした事から、どうも渡り鳥と思っている方が多いようですが、一年を通して日本に生息しています。冬の暖かい日には、よく山や野原の藪の中からまるでチャ・チャと舌打ちをしているような声が聞こえます。藪の中ですので姿は中々見ることは出来ませんが、これをウグイスの地鳴きと言います。

その他、国内にいて夏の暑い頃は高い山にいて卵を産み子育てをして、冬寒くなってくると里の方に山から下りてくる鳥、山に限らず北の方から南の暖かいところに移動して渡りをしない漂鳥(ひょうちょう、国内に留まる)なんて鳥もいます。観音山でも見られますルリヒタキ、ミソサザイ(みそっちょと呼ぶ人もいます)などが慈眼院さん付近でも冬になると見られます。春になりますとこうした漂鳥といわれる鳥は、また高い山、あるいは北の地域に移動し繁殖します。

変わりに春暖かくなると、今度はいわゆる夏鳥が渡ってきます。この夏鳥は正確に言うところの日本が故郷です。日本で生まれ

て育ち、遠い距離(越冬する地域)を飛べるまで成長します。おなじみのツバメ、カッコウ、ホトトギス、オオルリ、キビタキ等があります。夏鳥が渡って来たところ(4月中旬・5月・6月)、山や森は鳥の声で大変賑やかになります。先程あげたオオルリはきれいな声で鳴くことから、日本の三鳴鳥(他にウグイス、コマドリ)と言われていて、この囀りは、1.なわばり、2.求愛、3.ヒナ鳥への刷込(学習、上手にさえずる親鳥の子は上手)とされています。また、キビタキという鳥は三鳴鳥には入りませんが、姿はきれいな色(黒・黄色・白)をして鳴き声は澄んだやさしい声を持っています。橋爪さんのところの一路路カフェに夏行っていると、その声姿がよく見聞きできます。今は遅いですが、毎年5・6月に行ったら会えると思いますので、また来年その時期に是非、一路路に行ってみて下さい。食事・コーヒーを頂きながらのそれは大変素晴らしいと思います。そして、冬になると、餌となる虫、木の実を求めて南の島に渡って行きます。この夏鳥が南に渡る頃、今度は冬鳥(白鳥・ガン・カモ類)が北から越冬のために渡ってきます。私の家の庭にはほぼ毎年10月30日頃ジョウビタキという鳥がやって来ます。俳句の季語でヒタキという季語(冬)がありますが、このジョウビタキの事です。ルリビタキ、ノビタキ等、渡って来てしばらくはヒッヒッという声がよく聞こえてきますのでよく分かります。一冬の縄張りを決める為の地鳴きです。色は頭上の灰白色、喉の黒、翼に小さな白斑があり、腹から尾は赤褐色です。そして翼に白斑が有ることから、これを和服の紋付に見立て、正式名ではありませんが、紋付鳥と言われています。この鳥は冬になりますと街中でも運がよければ見る事が出来ます。

今迄、留鳥、漂鳥、夏鳥、冬鳥を簡単に紹介しましたが、もうひと種類、旅鳥(たびどり)という分類の鳥があります。これは殆どが水辺の鳥で、河原・海の干潟などで渡りの途中で休息して餌を食べ体力を付けて再び渡っていく、日本には住みつかないただ通りすぎるだけの鳥がいます。シギ、チドリの仲間です。その他、迷鳥(めいちょう)と言われる鳥がいます。例えば台風などで自分の意思に反して風に運ばれて来てしまった鳥です。これはどんな鳥が来るかわかりません。逆に野鳥の会の人など、こうした鳥を見つけるのが楽しみだという人もいます。

「多胡」という苗字は群馬県ではよく耳にするが、全国では珍しい苗字である。「多胡スタジオ」の多胡邦夫さんのおかげで少しはメジャーになった気がする。フェイスブックで岡山の多胡さんと「多胡つながり」で友達になったが、



10分卓話 多胡君

太っていた頃の自分に容姿が似ているのでびっくりした。

吉井の多胡碑に刻まれている「羊」多胡羊太夫が我が一族の始祖と言われている。銅鉞脈を発見した功績で300戸を与えられた渡来人である。朝廷への忠誠が厚く、都へ日参していたが、それは従者の背中に羽が生えていて空を飛んで通っていたためである。ある日寝ていた従者の羽を羊太夫が面白半分に引っ張って取ってしまったため、神通力を失って都に通えなくなった。

「羊太夫謀反の恐れあり」朝廷から大軍が押し寄せた。はじめは善戦していた多胡一族は多勢に無勢、娘妃は自害、羊太夫は捕まる寸前に蝶に化けて空を飛んで逃げたとされる。

一族が逃げ延びた先が安中市と高崎榛名町、この辺りは今でも多胡姓が多い地域である。安中には羊太夫を祀る「羊神社」そして榛名町間野には「多胡神社」があり、毎年3月9日には間野・谷ヶ沢の多胡姓の先祖祭りがおこなわれている。



9/27の食事

<例会食事メニューのお知らせ>

- ・10月4日…[和食] 小鉢(とろろ芋 オクラ) 茶碗蒸し 鉄火重 味噌汁
- ・10月11日…[洋食] サラダパナッシュェ かぼちゃのポタージュ イタリアンハンバーグステーキ(ガーリックトマトソース) ライス コーヒー
- ・10月18日…[中華] たまごスープ 海鮮サラダ 春巻き、焼売 ナス入りマーボー豆腐 白身魚と鶏肉のユーリンソース 白飯

■ニコニコBOX(9月27日)

- 多胡 友弘 君 はじめての卓話です。よろしくお願ひします
- 竹内 儂嵩 君 多胡さん、卓話の時間たっぷりありますので宜しくお願ひ致します
- 石橋 克美 君 9月25日3クラブゴルフ対抗戦、無事晴天の中、終了出来ました。ありがとうございます。次回は新潟で開催されます。宜しくお願ひします
- 橋爪 良真 君 高々バスケット部 インターハイ出場に際してはご支援ありがとうございました
- 岩佐登志夫 君 だいぶ秋めいてきました
- 高木 賢治 君 一日千秋の思いでまっていた。岩佐さん、会いたかったよ！ 本日は会えてうれしいです
- 嶋方 徳郎 君 何か良い事ありますように

■出席報告(9月27日)

会員総数	37名
出席計算会員数	36名
当日出席者	22名
会場出席率	61.11%

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
 TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
 E-mail : takasaki-cent@rid2840.jp
 例会 / 毎週火曜日 18時30分

■3クラブ親睦コンペ(新潟南・高崎南・高崎セントラル)

9/25(日) 3クラブ親睦ゴルフコンペが行われました。



新潟南のゴルフメンバー



団体優勝新潟南メンバー



合同ゴルフの全員集合



表彰式パーティー新潟南のメンバー



同じく高崎南のメンバー



新潟南会長幹事、高崎南幹事、セントラル会長 お世話になった金井さん



パーティー乾杯



ゴルフ優勝者 高崎南岡田君を囲んで(中央)



主催者セントラル会長挨拶



高崎南会長挨拶



新潟南会長挨拶